

## 第1回 教育課程編成委員会 議事録

【 日 時 】平成28年2月3日(水)11:00～12:30

【 会 場 】パシフィックテクノカレッジ学院 7階 会議室

【 委 員 】	上江洲 博	那覇電気工事業協同組合	理事
	崎山 秀樹	株式会社東洋設備	常務取締役
	福富 健仁	国立沖縄工業高等専門学校	非常勤講師
	♯野 信成	学校法人パシフィックテクノカレッジ学園	理事長
	嘉手苺 良治	専修学校パシフィックテクノカレッジ学院	前学院長
	大城 勝	専修学校パシフィックテクノカレッジ学院	教務課長
	♯野 宙直	専修学校パシフィックテクノカレッジ学院	電気機械科主任
	山川 正人	専修学校パシフィックテクノカレッジ学院	総務課長

(敬称略)

1. 開会宣言(山川 正人)
2. 職業実践専門課程概要説明(山川 正人)
3. 職業実践専門課程の申請に関する年間スケジュール説明(山川 正人)
4. 教育課程編成委員会の説明(山川 正人)
  - ① 委員会規則
  - ② 学外委員選出区分
5. 学院基本情報報告(山川 正人)
6. 職業実践専門課程の基本情報報告(山川 正人)

学期制度・成績評価・長期休み・卒業/進級条件・生徒指導・課外活動・就職等の状況主な資格  
検定等・中途退学の現状について説明
7. 企業等との連携体制について説明(山川 正人)
  - ① 教育課程編成の基本方針の説明
  - ② 企業と連携して実施する授業(実習・演習等)の説明
8. 学院の現状
  - ① 平成28年度・教育課程について説明(♯野 宙直)
  - ② 平成27年度教育課程の進捗について説明(♯野 宙直)

③ 学院全体の現状について説明(大城 勝)

- (1) 平成26年から実施している出席管理法の取り組みで長期欠席者がいなくなった。
- (2) 教室配置を変更し利便性が向上した。1階から3階を実習室。4階から6階を教室。
- (3) 照明をLED化した。
- (4) セキュリティー・システムを全面改修した。
- (5) コンピュータ教室のインターネット回線を高速化した。
- (6) 3月に5階・6階教室の空調機を全面改修する。

9. 企業訪問で得た情報(指導・助言等)報告(山川 正人)

- ① 県内の技術者の県外流出について、熟練技術者のみならず若年層の流出も顕著で、今後の人材確保を懸念する意見が多数ある。震災復興及びオリンピック景気に加え、若年層の県内志向の変化によるものと考えられる。
- ② 高所作業車(10m未満)特別教育を在学中に修了すると、電気工事士資格と合わせて活躍の場が広がる。
- ③ 新採用者の離職率が高い。作業現場でのコミュニケーションに難がある場合長続きしない。
- ④ 工業高校と専門学校の違いをより明確にし、アピールしたほうが良い。

10. 意見交換

- ① 専門学校で学び産業界で活躍している方も多い。専門学校の良さをアピールしたほうが良い。

人材育成は企業にとっても重要で、いかに働く魅力を引き出すか研鑽を積んでいる。まずはトップが変わらねば職員の意識改革は進まない。その点は学校でも同様で、学生を指導するうえで、先生自身が変わらなければ良い学校づくりはできない。(上江洲 博)

- ② 以前は工業高校から採用していたが、ここ6年は専門学校から採用している。専門卒は進学時から、資格を取り技術を身に付け就職するという目的意識が明確である感を受ける。その点が高卒との大きな違いであろうと実感している。当社は離職率そのものは低いが、工事部署が比較的退職者が多い。離職率を懸念する点では他社と同様である。(崎山 秀樹)
- ③ 教育課程は県外の同様な専門学校に引けを取らない内容である。より沖縄の電気・機械業界に適合した内容に仕上がっている。中でも出席管理は卓越している。

産業現場では、技能者の考え方と資格、技術者の考え方と資格で若干の違いがある。コミュニケーション、特に言葉の使い方が肝要である。

当社では以前、即戦力の中途採用を行っていたが、現在は新卒を採用している。中途採用者の退職理由は「前の会社ではこうだった」というものが多い。新卒者は戦力になるまで時間を要するが、丁寧に社員教育することで離職率を低減している。

当社は、機械設備を生産販売しているが、機械設置現場で建築業者から嫌がらせを受けたこともある。若い技術者が現場での言葉の使われ方やイビリを受け、ショックで退職につながるケースもある。就職前に、「現場ではこうだよ」と産業現場での生の声を聞いておくだけで、驚かなくて済む。辞めなくて済む。新卒者が一人前になるまでは、企業としては投資であり、その前に退職されたら、その損失は大きい。(福富 健仁)

- ④ 今回の委員会を経て、あらためて職業実践専門課程の目的を再認識し、こういう形なんなんだなど実感した。

新聞報道等で、高卒の離職率が高いことは認識していたが、当学院卒業生の離職率については正直把握していない。

学外委員の皆さんや、企業訪問で得られた情報で、新卒者を含む技術者の辞める理由がだいたい見えてきた。今回得られた情報を整理して、学院でできることを見直す。(♫野 信成)

11. 学院長、理事長 謝辞。

12. 閉会